



平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月14日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東
 コード番号 3041 URL http://www.beauty-kadan.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三島美佐夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 田口絹子 (TEL) 096-370-0004
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績(平成28年7月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	2,938	2.6	△43	—	△53	—	△51	—
28年6月期第2四半期	2,862	△8.7	41	—	45	—	21	—

(注) 包括利益 29年6月期第2四半期 △51百万円(—%) 28年6月期第2四半期 17百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
29年6月期第2四半期	円 銭 △12.72	円 銭 —
28年6月期第2四半期	5.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
29年6月期第2四半期	百万円 3,226	百万円 498	% 15.2
28年6月期	2,884	572	19.6

(参考) 自己資本 29年6月期第2四半期 491百万円 28年6月期 565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年6月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 5.55	円 銭 5.55
29年6月期	—	0.00			
29年6月期(予想)			—	5.55	5.55

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日~平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	0.6	95	△25.0	105	△23.4	75	△0.5	18.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期2Q	5,076,000株	28年6月期	5,076,000株
29年6月期2Q	1,026,552株	28年6月期	1,026,552株
29年6月期2Q	4,049,448株	28年6月期2Q	4,220,248株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年7月1日から平成28年12月31日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直しにより緩やかな回復が続いたものの、企業収益の改善や設備投資の持ち直しの動きは足踏み状態となりました。海外においては、米国・欧州の先進国を中心に景気は緩やかに回復しておりますが、米国では、継続する資源安の影響が残っていることや、英国のEU離脱や地政学的リスクによる欧州経済の不透明感、中国をはじめとする新興国の成長の鈍化など、予断を許さない状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、葬儀の1件あたりの単価下落、直葬の増加傾向にある事業環境に対応すべく、「業界のコストリーダー」として生産規模や販売規模、原料調達などの物量を拡大させること等を基本方針とする中期経営計画のもと、各施策を実行してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、2,938,211千円（前年同期比2.6%増）、営業損失は生花祭壇事業における単価下落や生花卸売事業における組織再編等による販管費の増加により、43,578千円（前年同期は41,929千円の利益）、経常損失は53,499千円（前年同期は45,454千円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は51,510千円（前年同期は21,928千円の利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、1,570,299千円（前年同期比5.2%増）となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の平成28年7月から平成28年12月までの売上高は299,432百万円（前年同期比0.7%減）、取扱件数は208,887件（前年同期比0.4%増）と直近の集計ではいずれも増加傾向で推移いたしましたが、引き続きこの数年での傾向といたしましては、大都市圏を中心として葬儀単価は低下しつつも件数が増加し、売上は拡大している状況です。

このように高齢化ともない、死亡者数が増加傾向にある中で、葬儀業全体では市場は拡大傾向にありますが、葬儀業における各カテゴリー（葬祭専門事業者、冠婚葬祭業者、農業協同組合、新規参入事業者等）別や地域別にみるとその状況は均一ではありません。特定のカテゴリー事業者や地域では社会構造の変化に伴い、消費者の価値観やニーズも急激に変化が進んでおり、特に大都市圏における「家族葬」や「密葬」等葬儀の小型化とともに単価の下落傾向が続いております。このような状況の中で、当事業では売上拡大策として、千葉県成田市に成田営業所を新設（平成28年9月）し、市場シェアの拡大を図っております。

この結果、売上件数は増加したものの、単価下落の影響を受け、営業利益は128,928千円（前年同期比0.2%減）となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業は平成28年7月1日付で100%子会社であるマイ・サクセス株式会社へ会社分割し、従来より進めている業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っております。このような状況の下、売上高は860,438千円（前年同期比2.7%増）となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」（平成29年1月）によると、平成28年7月から平成28年12月までの切花累計の取扱金額は31,685百万円（前年同期比2.2%減）、数量では460百万本（前年同期比2.5%増）と金額ベースでは減少傾向、数量ベースでは増加傾向にあります。

前述のとおりマイ・サクセス株式会社へ会社分割、従来の生花卸売事業（国内流通）と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みにも注力していることから、営業損失は9,031千円（前年同期は58,980千円の利益）となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は関東エリアにおける件数微減の影響もあり、248,392千円（前年同期比8.0%減）となりました。少子化と晩婚化、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、市場規模は縮小傾向にあるものの、ゲストハウス・ウェディングやレストラン・ウェディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に未だ大きな市場規模が保持されております。ブライダル装花事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、大都市圏を中心とした店舗併設型の新規拠点開設や、式場との提携等、今後のブライダル装花事業の成長に向け各営業施策を実行しております。この結果、上記売上減及び、一部原価率の高い案件を受注した影響もあり、営業利

益は32,991千円(前年同期比28.2%減)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業、不動産管理事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、一般労働者派遣業、就労継続支援事業を行っております。当第2四半期連結累計期間においては、各事業ともに総じて回復基調にはあったものの、システム開発事業がやや低調に推移し、売上高は259,081千円(前年同期比0.8%減)、営業損失は15,389千円(前年同期は3,861千円の損失)となりました。システム開発事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発を行っております。不動産管理事業は、不動産の取得、処分、賃貸等の仲介及び管理を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ342,312千円増加し、3,226,697千円となりました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ416,140千円増加し、2,728,282千円となりました。これは主に、長期借入金、短期借入金、支払手形及び買掛金、リース債務の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ73,827千円減少し、498,414千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の通期業績予想につきましては、平成28年8月12日発表の「平成28年6月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち、決算日が3月31日であったマイ・サクセス株式会社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について連結上必要な調整を行っておりました。

この度、平成28年7月1日を効力発生日として当社の生花卸売(国内流通)事業を会社分割し、マイ・サクセス株式会社に承継したことを契機に、連結財務諸表のより適正な開示を図るため、当第1四半期連結会計期間より、連結決算日に本決算に準じた仮決算を行う方法に変更しております。

この変更に伴い、当第2四半期連結累計期間は平成28年4月1日から平成28年12月31日までの9ヶ月間を連結し、連結損益計算書を通して調整しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,096,736	1,341,734
受取手形及び売掛金	595,632	679,339
商品	17,961	16,694
仕掛品	5,536	7,380
原材料及び貯蔵品	21,521	37,092
繰延税金資産	13,501	27,468
その他	125,781	80,688
貸倒引当金	△3,841	△6,032
流動資産合計	1,872,829	2,184,365
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	439,593	440,801
減価償却累計額	△199,265	△207,690
建物及び構築物(純額)	240,328	233,110
車両運搬具	110,320	119,571
減価償却累計額	△50,393	△43,253
車両運搬具(純額)	59,926	76,318
工具、器具及び備品	193,366	195,649
減価償却累計額	△164,073	△168,424
工具、器具及び備品(純額)	29,293	27,225
土地	200,859	200,859
その他	15,993	33,073
減価償却累計額	△3,597	△4,071
その他(純額)	12,396	29,001
有形固定資産合計	542,803	566,514
無形固定資産		
のれん	54,059	43,949
その他	32,928	41,229
無形固定資産合計	86,988	85,179
投資その他の資産		
投資不動産	16,145	16,145
差入保証金	165,694	152,543
繰延税金資産	25,479	22,337
その他	186,495	207,369
貸倒引当金	△12,052	△7,757
投資その他の資産合計	381,763	390,637
固定資産合計	1,011,555	1,042,332
資産合計	2,884,384	3,226,697

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	220,087	250,822
短期借入金	335,003	504,500
1年内返済予定の長期借入金	395,652	438,328
1年内償還予定の社債	7,100	7,100
未払金	70,818	71,594
未払法人税等	13,605	12,201
賞与引当金	10,030	2,352
その他	211,503	222,811
流動負債合計	1,263,799	1,509,710
固定負債		
社債	42,900	39,350
長期借入金	901,052	1,048,957
リース債務	64,389	81,328
退職給付に係る負債	31,379	40,418
その他	8,621	8,517
固定負債合計	1,048,343	1,218,572
負債合計	2,312,142	2,728,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	142,056	142,056
利益剰余金	439,098	365,255
自己株式	△228,633	△228,633
株主資本合計	565,760	491,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17	△3
その他の包括利益累計額合計	△17	△3
新株予約権	6,489	6,489
非支配株主持分	10	11
純資産合計	572,242	498,414
負債純資産合計	2,884,384	3,226,697

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,862,479	2,938,211
売上原価	2,331,017	2,468,188
売上総利益	531,461	470,022
販売費及び一般管理費	489,532	513,601
営業利益又は営業損失(△)	41,929	△43,578
営業外収益		
受取利息及び配当金	455	145
受取賃貸料	3,546	3,536
受取和解金	3,992	-
その他	15,456	8,712
営業外収益合計	23,450	12,395
営業外費用		
支払利息	11,237	10,553
不動産賃貸費用	2,308	4,507
為替差損	636	4,413
その他	5,742	2,840
営業外費用合計	19,925	22,316
経常利益又は経常損失(△)	45,454	△53,499
特別利益		
受取保険金	13,740	-
特別利益合計	13,740	-
特別損失		
固定資産除売却損	236	28
災害による損失	2,359	-
リース解約損	1,458	920
特別損失合計	4,055	949
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	55,139	△54,448
法人税、住民税及び事業税	41,105	7,723
法人税等還付税額	△9,572	-
法人税等調整額	1,675	△10,662
法人税等合計	33,208	△2,938
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,931	△51,509
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	21,928	△51,510

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,931	△51,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	14
為替換算調整勘定	△4,635	-
その他の包括利益合計	△4,670	14
四半期包括利益	17,260	△51,495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,258	△51,496
非支配株主に係る四半期包括利益	2	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	55,139	△54,448
減価償却費	26,099	30,888
のれん償却額	10,109	10,109
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,169	△2,103
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,731	△7,677
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,995	9,038
受取利息及び受取配当金	△455	△145
受取賃貸料	△3,546	△3,536
支払利息	11,237	10,553
固定資産除売却損益(△は益)	236	28
受取保険金	△13,740	-
売上債権の増減額(△は増加)	△46,912	△83,706
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,117	△16,148
仕入債務の増減額(△は減少)	△27,411	30,734
その他	△74,440	40,170
小計	△65,903	△36,243
利息及び配当金の受取額	455	120
賃貸料の受取額	3,546	3,536
保険金の受取額	13,740	-
利息の支払額	△11,568	△9,598
法人税等の支払額	△86,689	△4,054
営業活動によるキャッシュ・フロー	△146,419	△46,240
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付金の回収による収入	1,076	1,036
有形及び無形固定資産の取得による支出	△19,118	△30,486
保険積立金の積立による支出	△17,712	△17,763
差入保証金の差入による支出	△1,766	△379
差入保証金の回収による収入	9,033	20,196
その他	△4,778	1,744
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,266	△25,651
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	280,000	626,000
短期借入金の返済による支出	△506,001	△456,503
長期借入れによる収入	580,000	590,000
長期借入金の返済による支出	△193,865	△399,418
社債の償還による支出	△10,000	△3,550
配当金の支払額	△14,981	△22,474
その他	△11,414	△17,164
財務活動によるキャッシュ・フロー	123,737	316,890
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,279	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△58,228	244,997
現金及び現金同等物の期首残高	1,548,196	1,096,736
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,489,967	1,341,734

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上 高	1,493,332	837,780	270,116	2,601,229	261,249	—	2,862,479
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	173	503,812	3,579	507,565	6,554	△514,119	—
計	1,493,506	1,341,592	273,695	3,108,794	267,804	△514,119	2,862,479
セグメント利益又 は損失(△)	129,234	58,980	45,971	234,186	△3,861	△188,395	41,929

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業と不動産管理事業、冠婚葬祭事業者向け人材派遣事業、並びに冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業ならびに就労継続支援事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△188,395千円には、セグメント間取引消去24,176千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△212,572千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、報告セグメントとして開示しておりました「土木・建設事業」は、平成27年5月27付けで当事業を行う昇建設株式会社の株式を譲渡したことに伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを廃止いたしました。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上 高	1,570,299	860,438	248,392	2,679,130	259,081	—	2,938,211
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	2,537	523,162	3,665	529,365	6,957	△536,322	—
計	1,572,836	1,383,600	252,058	3,208,495	266,038	△536,322	2,938,211
セグメント利益又 は損失(△)	128,928	△9,031	32,991	152,888	△15,389	△181,077	△43,578

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業と不動産管理事業、冠婚葬祭事業者向け人材派遣事業、並びに冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業ならびに就労継続支援事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△181,077千円には、セグメント間取引消去31,721千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△212,798千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(子会社株式の譲渡)

当社は、平成29年1月20日開催の取締役会において連結子会社である株式会社ビンの保有株式の全部を、同社代表取締役社長松本昭典及び同社取締役副社長倉石千波に譲渡することを決議し、平成29年1月31日に株式譲渡が完了いたしました。

1. 株式譲渡の理由

株式会社ビンは、葬儀司会を中心に装花施行などの派遣サービスを行っており、平成24年6月に連結子会社化いたしました。今般株式会社ビンおよび譲渡先と当社の間で、今後の事業展開について話し合いをした結果、資本関係にとらわれずに独自の発想で事業を構築していくこと、また当社との装花施行などの取引は継続することで両社で合意し、当社が保有する株式会社ビンの全株式を譲渡することを決定いたしました。当社グループといたしましても、今後の経営資源を集中することにより、更なる発展を図る所存です。

2. 株式譲渡先の氏名

松本昭典および倉石千波

3. 株式譲渡日

平成29年1月31日

4. 当該子会社等の名称、事業内容及び会社との取引内容

名称	株式会社ビン
事業内容	一般労働者派遣業
会社との取引内容	当社の装花及び生花祭壇施行に関する派遣業務

5. 譲渡した株式の数、譲渡対価、譲渡損益及び譲渡後の持分比率

譲渡した株式の数	3,500株
譲渡対価	75,000千円
譲渡損益	未確定であります
譲渡後の持分比率	一%

6. 業績に与える影響

本株式譲渡が、当社グループの連結業績に与える影響は軽微であります。